

標識には「かごしまロマン街道」と書いてあるが、明確な位置づけは無いようである。道路には、ガジュマルの気根が垂れ下がっている所もあり、南国の雰囲気のある道だ。海に向かって下っていくと、きれいな砂浜の田尻海岸に出た。正面に、枇榔島（びろうじま）が見える。



写真 229. 海に向く下り坂



写真 230. 田尻海岸と枇榔島

遂に到着、本土最南端「北緯 31 度線展望広場」で記念撮影して、もう少し先の「佐多岬公園展望台」の駐車場まで行く。駐車場から展望台まで、約 400m、炎天下を歩きます。



写真 231. 北緯 31 度線展望広場



写真 232. 佐多岬公園展望台



写真 233. 本土四極の 3/4 達成



写真 234. 南国気分を味わおう



この岬も、43 年ぶりの訪問であるが、整備された施設の変貌ぶりにびっくりである。

炎天下、地獄のような暑さの中を展望台まで頑張った甲斐あって、展望台では絶景が待っていた。途中、十年に 1 度しか咲かないと言われている蘇鉄の花が咲いていたし、周りの島々もよく見えて満足。



写真 235. 途中にある御崎神社



写真 236. 10 年に 1 回しか咲かない蘇鉄の花



写真 237. 薩摩半島もよく見えました



写真 238. 佐多岬灯台



写真 239. 開聞岳がきれい



写真 240. 竹島と噴煙を上げる硫黄島





写真 241. 感激！佐多岬大パノラマ

駐車場に戻る途中、エゾハルゼミがジージーうるさかった。駐車場に着いたら、まずの観光案内所でソフトクリームを買ってクールダウンした。



写真 242. ジージーうるさいエゾハルゼミ



写真 243. 生命維持に欠かせないアイス

岬から戻る際、また猿の群れに遭遇。南九州は猿が多いのかな？ ウッキー！



写真 244. 猿！横断中



写真 245. 猿！逃走中

その後は、ガジュマルの気根に頭をすりそうになりながら、大泊まで戻った。そこから、県道 68 号を大隅半島の西海岸に沿って北上した。



途中で、宗谷岬まで 2,700Km というおしゃれな看板があった。去年は、その宗谷岬に行ってたんだなと、懐かしい思いに浸りながら先に進んだ。



写真 246. ガジュマルが頭にぶつかりそう



写真 247. 日本列島 2,700Km

県道 68 号は、伊座敷港で国道 269 号になる。この辺りから、開聞岳や薩摩半島がよく見えて絶景ロードだ。

開聞岳は標高 1,000m 無いのに、凄い存在感。この辺は、海岸からすぐに山が切り立っている。北上を続け、本土最南端の道の駅、「ねじめ」に到着。



写真 248. 雲が取れた美しい開聞岳



写真 249. 鹿児島湾の対岸の薩摩半島



写真 250. 海岸からすぐに山になっている



写真 251. 道の駅「ねじめ」到着



南大隅町のゆるキャラ、右の緑の龍が「ネッピー」、左のピンクの龍は「ユッピー」と言うらしい。駅の行き先表示板は、裏と表で行き先が異なる点は謎である。ここでも、アイス（サクレモン）でクールダウンしたあと、給油してコンビニで夕飯と朝食を買って、宿にチェックインした。



写真 252. 黄色いポストと行き先表示板



写真 253. 行き先表示板の裏面



写真 254. クールダウンにはサクレモン



写真 255. ねじめ温泉ネッピー館

「ねじめ温泉ネッピー館」に着くと、ロビーに観光大使の風間さんの北極探検バイク TW-200 改が展示してあってびっくりした。部屋も広くてきれいで、窓から桜島も見える。歓迎のお茶菓子に名物「まるぼうろ」のサービスもあり。



写真 256. 風間さんの北極探検バイク



写真 257. 広くてきれいな部屋



写真 258. 「まるぼうろ」実は宣伝なのよね



写真 259. 窓から錦江湾と桜島が見える

温泉には、歩行浴出来るぬるい露天風呂が有り、地元のおじいちゃん達の横を 2 周ほど歩いてみた。温泉でさっぱりした後、カメラ持って近所のお散歩に出た。ここは、以前に乗ったことがある大隅半島と薩摩半島を結ぶフェリーの発着所の目の前だった。今回もフェリーで渡る計画だったが、ここの始発が 9 時と遅かったので、桜島まで陸走してからフェリーで薩摩半島に渡ることにした。散歩から帰って、コンビニ弁当を食べて就寝。



写真 260. 港の近くは南国気分



写真 261. 山川行きのフェリー乗り場



写真 262. ほとんど珈琲の香りはしなかった

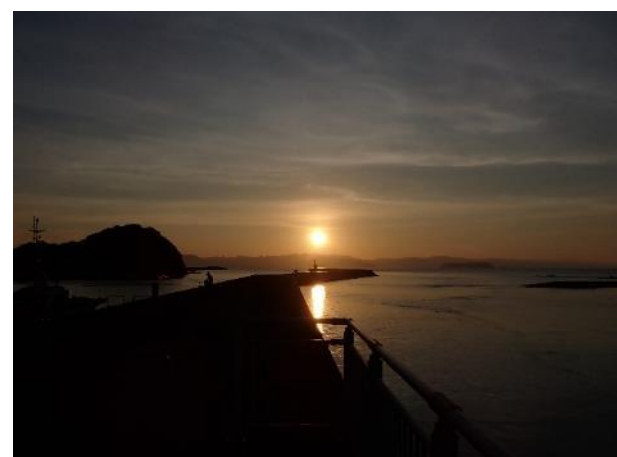


写真 263. 薩摩半島に夕日が沈む



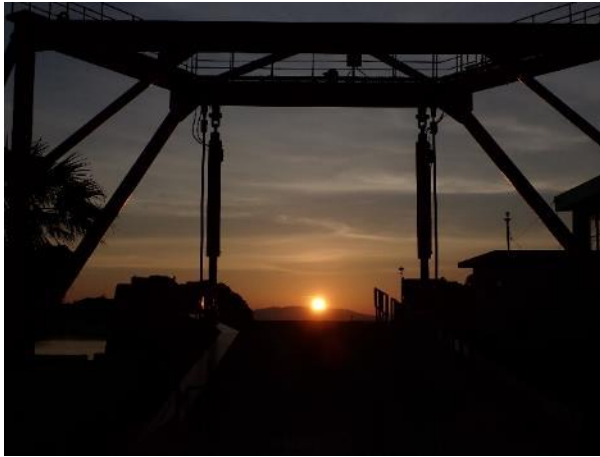


写真 264. ダイヤモンド富士ならぬダイヤモンド栈橋



写真 265. 火を噴いて急上昇していく飛行体



写真 266. 何かを追いかけてきた野良猫



写真 267. 猫に追われていたのはカニだった



写真 268. 根占夕景

次ページ (06\_1) [https://kurotora2.michikusa.jp/event/2025\\_Kyushu/2025\\_kyushu\\_06\\_1.pdf](https://kurotora2.michikusa.jp/event/2025_Kyushu/2025_kyushu_06_1.pdf)